



# 夢を創造する。

HEART AND CREATION



## 北海道おとねっふ美術工芸高等学校



旭川市から鉄道で2時間の所に、人口わずか680人程の北海道で一番小さな村「音威子府」があります。  
森に囲まれたこの村にはコンビニは1軒だけ。カラオケやゲームセンターなどはありません。あるのは豊かな自然と都会では見ることの難しい幻想的な星空。  
この小さな村に、日本全国から志を持った生徒がやって来ます。親元を離れて暮らす3年間は、色々な出会いと感動で溢れています。  
3年後の自分を想像して下さい。ものづくりに夢中になり、仲間との絆を築き、親の有難味を知る。自分にとってやりたい事は何なのか。  
この小さな村には、学校だけでは学べない地域との関わりがあります。小さな村だからこそその学び。ものづくりを通しての自分づくり。  
その魅力を少しでも紹介します。

- 
- 02 ものづくりを通して豊かな心を育てる
  - 03 特色を活かしたカリキュラム
  - 04 多様な連携授業
  - 05 作品が生み出される教室
  - 06 努力の結晶、美術・工芸作品
  - 08 スクールスナップ
  - 10 チセネシリ寮での生活
  - 12 進路実現に向けての取り組み
  - 13 おといマップ
  - 14 交通機関の案内

ものづくりを通して、豊かな心を育てる

1年 工業技術基礎



本校は北海道で唯一の「工芸科」の高校です。木工芸を中心としたものづくりを通して、自分と向き合い素材と向き合います。造形体験の中で様々なモノと向き合う事で豊かな心を育みます。

入学してまず、木工の基礎・基本と道具の手入れを徹底的に身に付けます。制作活動で使用する工具は音威子府村から支給され、3年間ずっと苦楽を共にします。手入れを怠ると痛い思いをすることもありますが、それもここならではの学びです。木工芸ではおもちやから家具まで幅広く制作をしています。制作を通して、自分の思いを形で表す事も授業の中で学んでいきます。

美術では、油彩はもちろん、水彩や日本画、基礎になるデッサンも行います。これらの様々な表現方法を学ぶことで作品の幅を広げ、自己表現の幅も広がります。

他にも村内外の施設での校外実習やCADによる製図など多岐にわたって学びを深めます。

3年 課題研究



2年 木工制作II



3年 美術研究



3年 素描



2年 絵画





多様な連携授業

■ 村民運動会 ■



■ デザインスクール ■



■ 学校間連携教育 ■



■ 高大連携教育 ■



高大連携教育では、教育活動を更に発展させるための様々な取り組みを行っています。東海大学の教授を本校に招いて年に4回の授業を行っています。学年別にわかりやすい授業となっており、「おもちゃについて」「家具デザインについて」「ポートフォリオの制作」などの内容で実施しています。

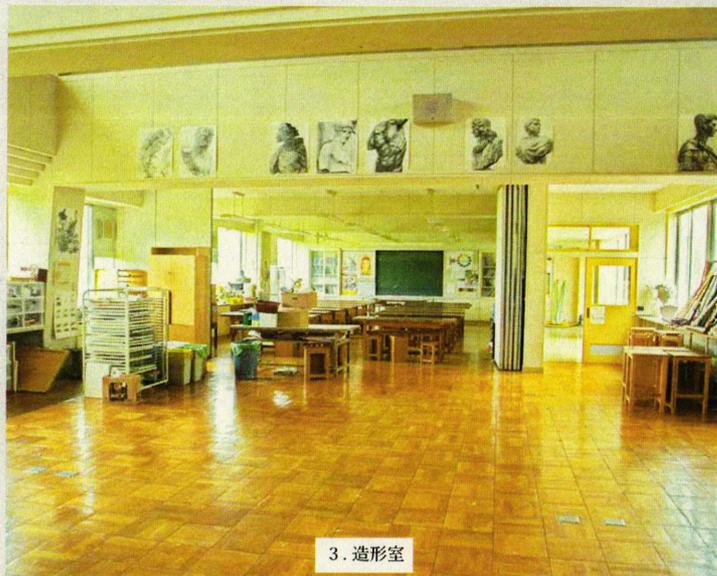
森林探訪は村内にあるフィールド科学センターにご協力いただき実施する校外実習です。森に入り木を切る伐採実習に興味別に巡ります。豊かな音威子府の自然とこれから自分たちが使用していく樹木についての知識と理解を深めます。

デザインスクールは、様々な視点で物を見ること、デザインすることを学ぶプログラムです。東海大学との連携事業でもあり、札幌キャンパスに訪れ、大学施設の見学やデザインの授業を受けます。この授業ではペアになった相手に帽子をデザインして制作し合い、その成果を発表します。村民運動会や植樹祭などを中心に幼児センター、音威子府小中学校や村民の方と関わる連携授業も活発です。また村内の多くの施設の協力でインターシップも行われます。

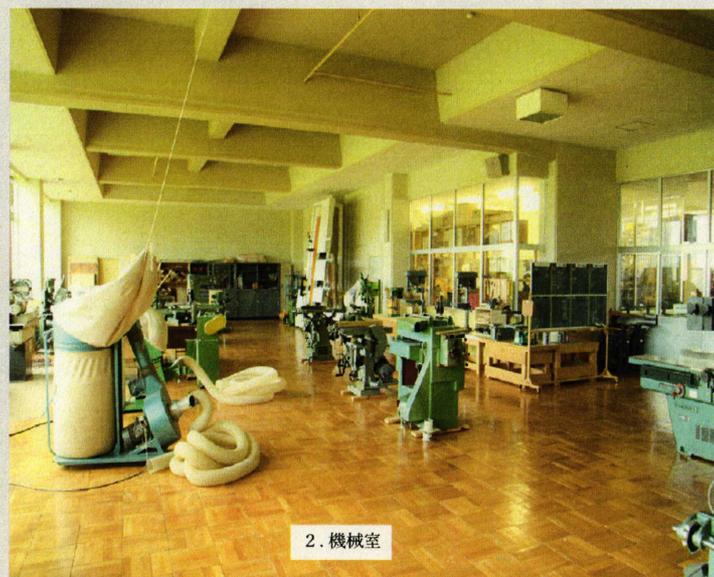
作品が生み出される教室



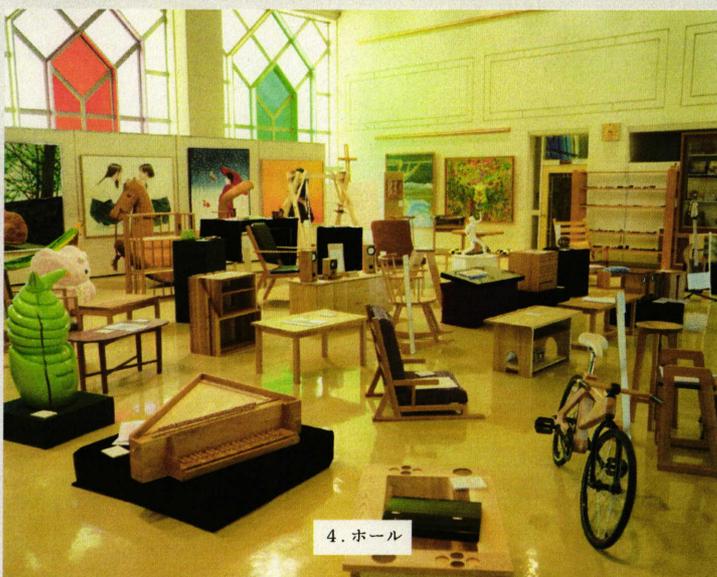
1. 組立実習室



3. 造形室

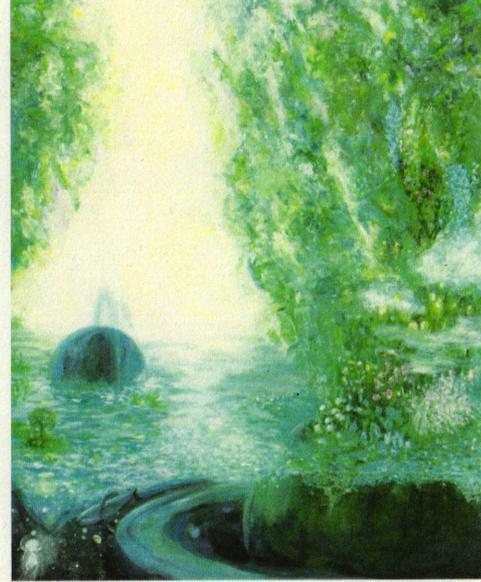
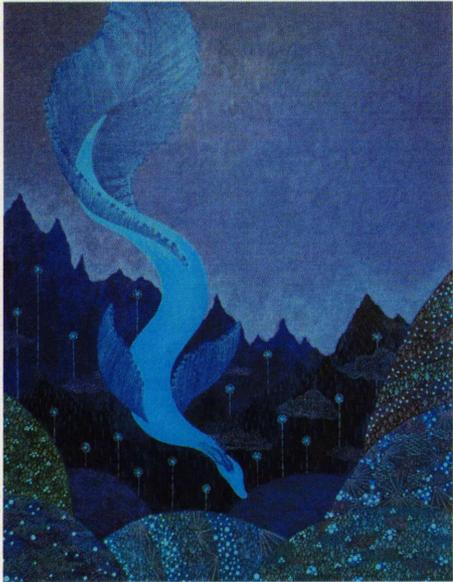


2. 機械室

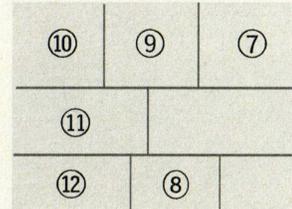
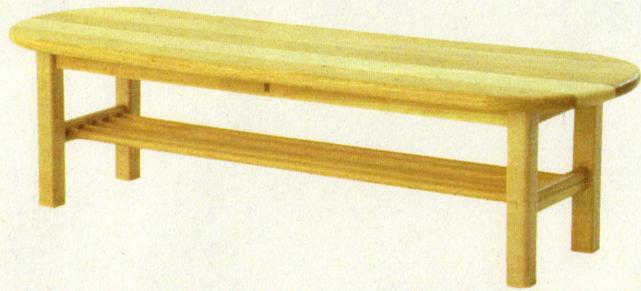


4. ホール

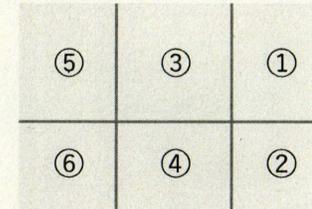
1. 組立実習室 全学年がほぼ毎日授業を行っています。2. 機械室 大型製材機で木材の加工を行います。3. 造形室 イーゼルを立てて絵画を描きます。4. ホール 3年間の集大成「卒業制作」が1年間展示されています。(見学可能です。事前に連絡をお願いします。)



努力の結晶、美術・工芸作品



【立体】



【平面】

⑦ 小谷真夕「ミルクティチェア」工芸研究卒業制作 / ⑧ 栃谷天寧「木のお皿」課題研究卒業制作 / ⑨ 伊藤玲那「ぐんない」課題研究卒業制作 / ⑩ 小野寺花季「ダイニングベンチ」課題研究卒業制作 / ⑪ 今野奈々美「Lc」工芸研究卒業制作 / ⑫ 中村萌聖「Pomme pomme table」課題研究卒業制作

① 佐竹小雪「すきだから」高文連全国推薦作品 / ② 廣瀬奈々「星へ」美術研究 卒業制作 / ③ 高谷和「生く」美術研究 卒業制作 / ④ 栗木響「わこちゃんとうこちゃん」美術研究 卒業制作 / ⑤ 藤井咲羽「私の原材料」第13回道展 U21 優秀賞 / ⑥ 伊勢谷那月「絵空事」第13回道展 U21 奨励賞



授業や部活動で制作されたこれらの作品は日頃の学びの結晶です。卒業制作は3年間の集大成。先生や仲間とじっくりと話し合いながらイメージを形にしていきます。仕上げるまでの過程は常に山あり谷あり。自分と素材に向き合い、今まで学んだことをすべて注ぎ込みます。こうして制作された作品は世界でただ一つの作品です。

工芸部・美術部の活動も盛んで、全国大会でも常連校。一般の公募展においても優秀な結果を残しています。日々の積み重ねが成果として表れています。規模の小さな高校ですが、美術・工芸の教員が多いのも大きな特徴です。



1月

**卒業制作発表**

3年間の集大成を全校生徒の前で発表します。東海大学の教授を招き講評して頂きます。



10月

**1日体験入学**

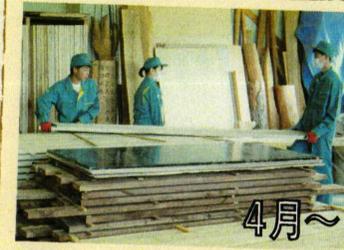
実際に本校へ来て制作体験をしたり、校内の見学をします。保護者への説明会も行います。



7月

**学校祭（ワークショップ）**

年に1度のビッグイベント学校祭。工芸品の即売会を行うのは本校ならではの。



4月～

**栈積み**

2年後に使用する木材を倉庫に山積みします。これは各学年で行います。



**工業技術基礎**

鑿（のみ）鉋（かんな）鋸（のこ）等の工具の使い方や、木材加工の基礎・基本を学びます。

# スクールスナップ

授業・行事・その他の活動を紹介します。



5月

**1年生宿泊研修**

毎年1学年で施設見学などを通して、集団生活の意識を向上させます。



**工芸研究**

卒業制作へ向け課題研究とは別に木工制作を行います。3年間木工制作で学んだ集大成を卒業制作では発表します。



12月

**赤ちゃんふれあい体験**

その年に生まれた新生児とお母さんに協力して頂き、実際に赤ちゃんに触れ合うことで命の大切さを学びます。



6月～8月

**木の手づくり展（札幌・旭川）**

生徒が制作した作品の展示会です。毎年、札幌と旭川で行われ、学校説明会やワークショップも行っています。



6月

**森林探訪**

日頃から扱っている木材の知識をより深める為に、実際に山へ入り伐採実習など行います。



**クロスカントリースキー部**  
インターハイ総合優勝多数。国内トップクラスの強豪校。日々の厳しいトレーニングに励んでいます。



**工芸部**  
木工芸を中心に制作する部活動です。高文連や校内展示に向けた活動を行っています。



**体育祭**  
12月頃に行われる生徒会行事です。3グループ対抗で様々な種目で競技し、交流を深めます。



**美術研究**  
100号程度のキャンバスを自ら制作する所から始まります。そのキャンバスに思い思いの絵を描いていきます。



**家政部**  
調理や裁縫などをのんびりと行っています。

本校は、全校生徒が部活動に所属しているという大きな特徴があります。美術部・工芸部では自らの表現や技術の向上など精力的に制作活動を行っています。

それ以外の部活動も活発で、クロスカントリースキー部はインターハイでも優秀な成績を残しています。他にもバドミントン部・アルペンスキー部・家政部・文芸部・軽音楽部がそれぞれの目標に向かって日々邁進しています。

地域との関わりも多く、村民運動会やクリーンおといねっぶなどの活動は「若い力」として村民の方々からの期待も大きいです。

小さな村ならではの取り組みが、生徒にとっての「学び」に繋がり、地域との交流は社会性を育みます。

四季折々の自然豊かな環境で過ごす時間はかけがえのないものになります。この環境だからこそ、豊かな心を育み、創造力を養います。



**昼休み**  
寮の脩いさんがお弁当を届けてくれます。教室では仲良く楽しく過ごしています。



**軽音楽部**  
初心者からバンド経験者まで様々な生徒が所属しています。高文連などの大会に出場に向け活動しています。



**美術部**  
高文連や有島武郎青少年公募絵画展などの大会へ向けて、日々の努力を惜まず励んでいます。



**体育（スキー授業）**  
冬になると音威富士スキー場でスキー学習をします。本校は全国から生徒が来ているので、初めてスキーをする生徒は毎年1人はいます。



**避難訓練**  
年に2回、学校と寮では災害に備え避難訓練を行っています。

## チセネシリ寮での生活①

全国各地から入学する生徒のためにチセネシリ寮（寄宿舎）があります。寮では「集団生活」を通して、規則を守ること、協力や助け合いの精神を学び、自立性や自主性・自己管理能力を身に付けます。

このチセネシリ寮は男子寮と女子寮に分かれています。それぞれにシャワー室や静養室などが設置されており、教養スペースとして食堂や多目的室などがあります。寮は学校のすぐ裏に位置し、徒歩2分の距離です。また、寮では「寮生会」という生徒の寮生活をまとめる

組織があり、学校とは別に寮生会による寮行事（新入寮生歓迎会・寮祭等）も定期的に行われています。本校は村外からの入学者が多いため、ほとんどの生徒が寮で仲間たちと寝食をともにすることになります。

休日には村の施設や学校開放などで運動をして汗を流したり、買い物へ出かけたりします。夜になると娯楽室に集まって談笑したり、テレビを観たりして楽しんでいきます。学習室で進学に向け、勉強やデッサンに励む生徒もいます。



▲春から夏頃には寮レクとして学年ごとに村外へ出かけます。



▲毎日の食事を作ってくれる膳いさん



▲栄養バランスの考えられた食事



▲仲間と食べる美味しいご飯



▲美味しいと笑顔に



▲寮レクでの楽しい時間。

▲新入寮生歓迎会は皆でバーベキューをします。



▲寮の談話室では友達とゆっくり過ごします。

▲休日の体育館開放を利用して汗を流します。

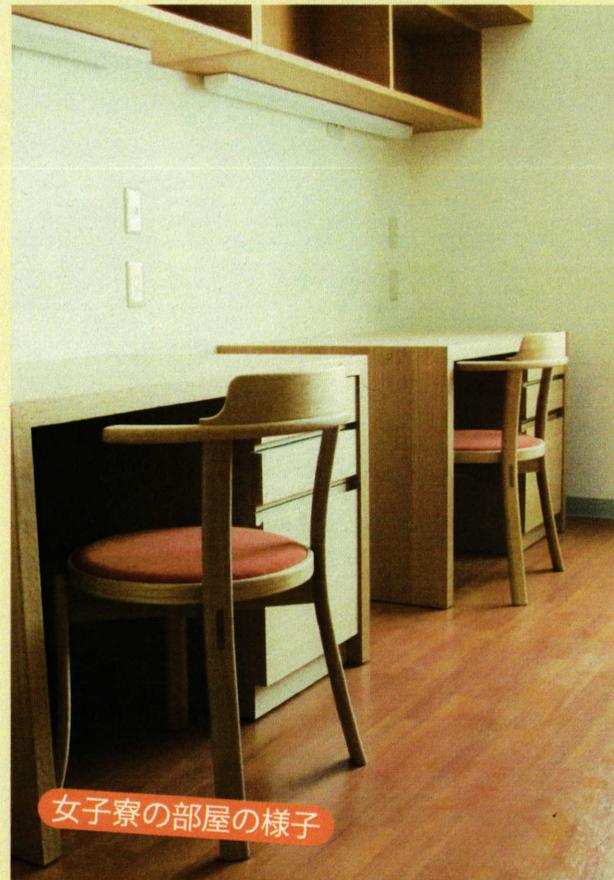
## チセネシリ寮での生活②

本校は遠方からの生徒が多いため、年5回の長期休業を設けています。夏休み、冬休み、春休みの他に、四月末からのゴールデンウィーク休みと十月上旬ごろに秋休みを設定しています。

長期休業中のチセネシリ寮は閉鎖となり、寮生は各家庭に帰省することになります。帰省に際しての交通費等は各家庭の負担となります。通常の土日や祝日を利用して帰省することも可能です。

学校がある日の生徒たちは、日々忙しく過ごしています。起床の際は寮内に音楽が流れ、その後点呼をします。各自

朝食を摂り、登校します。昼食は寮の賄いさんが作ってくれたお弁当を、学校に届けてもらい、教室で食べます。午後の授業を終えると放課後の活動が始まります。部活動や進学講習・生徒会活動と様々です。夕食時間までに帰寮し、20時まではお風呂に入ったり友人と過ごしたり趣味の時間など自由な時間を過ごします。学校祭準備などの行事の際には、この時間を利用して作業することもあります。平日は毎日学習時間を設けられていて、日々学習を積み重ねるという習慣付けを行っています。夜の点呼が終わった後は消灯時間まで再び自由な時間を過ごします。



女子寮の部屋の様子



お風呂の様子

### 寮日課

| <休日>                 | <平日>        | 時刻    |
|----------------------|-------------|-------|
| 起床・点呼<br>(朝食は前日配布)   | 起床・点呼<br>朝食 | 7:00  |
|                      |             | 8:00  |
|                      |             | 9:00  |
| 部活動<br>・<br>外出は18時まで | 登校          | 10:00 |
|                      |             | 11:00 |
| 昼食                   | 学校にて昼食      | 12:00 |
|                      |             | 13:00 |
|                      |             | 14:00 |
|                      |             | 15:00 |
|                      |             | 16:00 |
|                      |             | 17:00 |
| 夕食                   | 夕食          | 18:00 |
|                      |             | 19:00 |
| 余暇                   | 夜間外出可       | 20:00 |
|                      | 学習時間        | 21:00 |
| 清掃・点呼                | 清掃・点呼       | 22:00 |
|                      | 余暇          | 23:00 |
| 消灯・就寝                | 消灯・就寝       |       |

### 入学生納入金一覧表 (令和4年度)

- ◎入学生納入金  
通学生…108,283 寮生…140,683
  - ◎5月以降の納入金  
前期(5月～9月)  
通学生…16,600 寮生…46,600
  - 後期(10月～3月)  
通学生…8,000 寮生…38,000
- \*財政状況により変動します。

# 進路実現に向けての取り組み

各学年、年間を通して卒業後の進路を積極的に考える取り組みを行っています。様々な進路講話や適性検査、各種検定などを定期的に実施しています。他にも、「インターンシップ」や、3年生が先輩たちに進路での実体験を話す「先輩の声を聞く会」などを行っています。年に2回行われる地区別懇談会では札幌・旭川・音威子府で保護者面談を行い、学校や寮での生活、進路について話し合います。長期休業を利用してのオーブンキャンパスへの積極的な参加を促したり、放課後

を利用して進路講習を行ったり、学校を挙げて進路実現のサポートをしています。本校は工芸や美術を多く学びますが、進学・就職先は芸術分野とは限りません。個々に合った進路先が見つかるように支援をしています。校外実習先などで卒業生から進学先や就職先の話、高校時代の進路活動のお話を聞く機会に恵まれる事もあります。さらに卒業生が来校して進学先や就職先での実際の取り組みなどが聞ける機会もあります。



先輩の声を聞く会



進路適性ガイダンス



インターンシップ



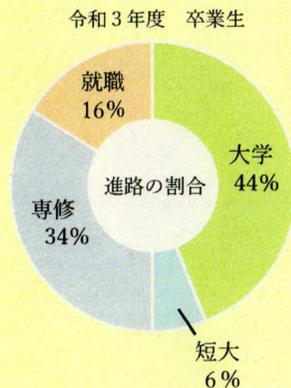
美術系進路ガイダンス

## 過去3年間の進路

|                | 1学年  | 2学年  | 3学年  |
|----------------|--|--|--|
| 4<br>5<br>6    | オリエンテーション<br>進路適性検査<br>進路適性ガイダンス<br>進路面談<br>美術系進路ガイダンス | スケジュール表の活用<br>進路適性検査<br>進路適性ガイダンス<br>インターンシップ<br>進路ガイダンス | 進路の流れ再確認<br>日本学生支援機構奨学金申込①<br>進路決定に向けて<br>進路ガイダンス<br>面接について<br>進路面談<br>日本学生支援機構奨学金申込②<br>専門学校AO入試開始<br>進路用写真撮影 |
| 7<br>8<br>9    | 適性検査<br>職業・進路別ガイダンス                                    | 職業別ガイダンス<br>職業・進路別ガイダンス                                  | 三者面談<br>大学総合型選抜開始<br>推薦会議<br>求人票公開<br>公務員出願開始<br>推薦会議<br>就職試験応募開始<br>就職試験開始                                    |
| 10<br>11<br>12 | 進路面談   | 進路面談<br>インターンシップ   | 大学入学共通テスト出願<br>学校推薦型選抜開始   |
| 1<br>2<br>3    | 先輩の声を聞く会<br>進路規定について<br>進路面談<br>分野別ガイダンス               | 先輩の声を聞く会<br>求人票の見方<br>進路面談<br>分野別ガイダンス                   | 大学入学共通テスト<br>一般選抜開始<br>卒業証書授与式   |

- 主な進学先
- 北海道教育大学旭川校
  - 北海道教育大学苫小牧校
  - 札幌市立大学
  - 札幌公立大学
  - 秋田公立美術大学
  - 長岡造形大学
  - 沖縄県立芸術大学
  - 東海大学
  - 札幌大谷大学
  - 東北芸術工科大学
  - 多摩美術大学
  - 武蔵野美術大学
  - 京都美術工芸大学
  - 京都芸術大学
  - 大阪芸術大学
  - 神戸芸術工科大学
  - 日本大学
  - 奈良芸術短期大学
  - 京都工芸繊維大学
  - 北海道芸術デザイン専門学校
  - 等

- 主な就職先
- 苫小牧市職員
  - (株)アーリータイムスアルファ
  - (株)山田工作所
  - (株)大雪木工
  - (株)サンテリア
  - (株)武部建設
  - (株)井原林産
  - (株)加賀谷木材
  - (株)北清建設
  - (株)きのこや
  - (株)カルビーポテト
  - 社会福祉法人美瑛慈光会



# おといマップ

音威子府は北海道屈指の積雪量を誇る、北海道で一番小さな村です。ここには必要最低限のお店と診療所しかありません。都会の様な利便性には欠ける村です。

多くの生徒は、セイコーマート（コンビニ）とこしん商店で買い物をします。買う物は、お菓子や飲み物、それに夜食用のカップ麺などが多いのではないのでしょうか。食べ盛りの生徒達にとってはなくてはならない存在です。

村役場に併設されている公民館には小さな図書館があり、利用する生徒もいます。また、2階の大ホールは様々なイベントで使用され、秋には村の文化祭が催されます。美術部・工芸部の生徒たちの作品を展示し、村民の方々へ日頃の努力の成果を披露しています。



音威子府駅は生徒たちが帰省・帰寮で毎回利用する交通機関です。音威子府は小さな村ですが、特急列車も停まる駅となっており、生徒のみならず村民の方々にとっても重要な交通手段の一つとなっています。

夏は鮮やかな緑に囲まれ、冬には一面の銀世界に包まれます。音威富士スキー場ではウィンタースポーツも楽しめます。自然に囲まれている幸せ、決して便利ではありませんが、音威子府村でしか気づくことのできない有難味が確かにあります。



## 交通機関の案内

### ● 飛行機

- ・東京～旭川空港 約2時間15分
- ・大阪～旭川空港 約2時間40分
- ・東京～新千歳空港 約2時間10分
- ・大阪～新千歳空港 約2時間30分

### ● JR

宗谷本線特急宗谷・特急サロベツ

- ・札幌～音威子府間 約3時間20分
- ・旭川～音威子府間 約1時間50分

### ● 自家用車

- ・札幌より道央自動車道（札幌IC～士別剣淵IC）を利用して約4時間

※見学の際は予めご連絡をお願い致します。

## 北海道おといねっぷ美術工芸高等学校

〒098-2501 北海道中川郡音威子府村字音威子府181番地1

TEL 01656-5-3044 FAX 01656-5-3838

E-mail [otokoh@seagreen.ocn.ne.jp](mailto:otokoh@seagreen.ocn.ne.jp)

Web <https://www.otoineppu-h.ed.jp/>

Blog <http://blog.goo.ne.jp/otokoh>

